

平成27年度（ 社 会 ）授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
第一学年	<p>(1)資料を使って考え、自分の考えを発表する力が弱い。</p> <p>(2)他者の意見に対して根拠をもとに批判する力を伸ばす必要がある。</p> <p>(3)与えられた課題に最後まで取り組むことができない生徒がみられる。また、学力の差が少しずつあらわれてきた。</p>	<p>(1)授業の中で考える場面を多くすると共に、発表する機会をつくる。</p> <p>(2)他者の意見に対して、質問・批判する場面をつくる。</p> <p>(3)取り組みやすい学習プリントを作成し、本当に理解できているかどうかを、きめ細かく把握する。</p>	<p>○授業内容がより深まるような資料を用意する。生徒が興味・関心をもつ教材を準備して、発言しなくなる学習を計画する。</p> <p>○理解が十分でない生徒に関しては、放課後等の時間を利用し個別に指導するなど繰り返し学習を図る。</p>
第二学年	<p>(1)資料をもとに考えて、自分の言葉で表現する力が低い。</p> <p>(2)他者の意見に対して根拠をもとに批判する力を伸ばす必要がある。</p> <p>(3)基本的な知識の学力差がみられる。</p>	<p>(1)基本的な資料を提示し、資料の見方・表現の仕方を指導する。</p> <p>(2)他者の意見に対して、質問・批判する場面をつくる。</p> <p>(3)取り組みやすい学習プリントを作成し、定期的に小テストを実施し、繰り返し学習の大切さを実感させる。</p>	<p>○放課後や休み時間等を利用して、個別にきめ細かく指導する。</p> <p>○すすんで自習ができるように、学習プリントを用意する。</p> <p>○理解が十分でない生徒に関しては、放課後等の時間を利用し個別に指導するなど繰り返し学習を図る。</p>
第三学年	<p>(1)自分で考えた表現に自信がなく、すぐに模範解答を求めて、それを暗記している。</p> <p>(2)他者の意見に対して根拠をもとに批判する力を伸ばす必要がある。</p> <p>(3)第2学年と同様、理解している生徒と理解していない生徒の差が大きい。</p>	<p>(1)考えを書かせたものを回収し、個別に添削することで表現の仕方を指導する。</p> <p>(2)他者の意見に対して、質問・批判する場面をつくる。</p> <p>(3)定期的に総復習テストを実施して、基礎学力の大切さを実感させる。</p>	<p>○副教材や復習プリントを活用して、放課後や休み時間等を利用して、個別にきめ細かく指導する。</p> <p>○K中ゼミを行い、発展的な内容を指導する。</p> <p>○実際の入試問題を解かせる。</p>